

科目名	自由演習（弁護士・弁護士会の公益活動）						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照				
開講期	秋学期	開講学部等	法学部	配当年次	2年次	単位数	2単位
教員名	中村 邦義						

授業概要／Course outline

本科目は、様々な公益活動に携わっている弁護士複数人によるオムニバス形式での授業である。

弁護士・弁護士会によって行われている公益活動を通して、そこに潜んでいる社会問題を知り、その解決策や拡大防止について講師と受講生、あるいは受講生同士でディスカッション等を行うことで、社会に生起する問題に対する興味関心を育て、問題発見及びその解決に向けた行動力、社会的弱者への共感力をも涵養することを目的とする。

法学部での学びが社会においてどのような問題と関わっているのかを、弁護士・弁護士会の活動をとおして、より具体的に知る。将来の目標として弁護士など法曹を目指す人にとっては、弁護士・弁護士会が社会問題に対してどのような活動を行っているのか具体的に知る機会をなす。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

演習

- ・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））
- オンデマンド授業は、moodleで行う。内容に関する質問はメールで受け付ける。
- ・実務経験のある教員による授業

本科目は、弁護士複数人によるオムニバス形式であり、各講師ごとに授業方式は異なる。

ディスカッション・質疑応答を基本とするが、テーマによっては、グループワークを取り入れるもの、講義形式を取り入れるものもある。

いずれの方式の場合も、扱う事例等は、各講師が委員会活動等、弁護士会の公益活動において取り扱っているものであり、受講生は、授業を通して社会の問題を知り、これを解決するには何が必要か、いかにすべきかなど、学び考えていく。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回、第8回、オンデマンドによる振り返りとまとめの回は中村が担当するが、それ以外は、ゲストスピーカー（弁護士）の担当回である。

いずれの回も、ディスカッション、質疑応答により、受講生が積極的に参加することを前提とする。

また、各回終了時には、当該授業で理解し、あるいは得たもの、自らの考え等についてのまとめペーパー提出を課す。

第1回 ガイダンス

第2回・第3回 労働に関する問題

第4回・第5回 消費者被害に関する問題

第6回 司法制度の歴史 ※弁護士に対して社会から求められている役割等の理解の前提

第7回 公害・環境に関する問題

第8回中間まとめ

第9回・第10回 子どもの権利に関する問題

第11回 人種・民族・国籍等による差別の問題（ヘイトスピーチ）

第12回 高齢者・障害者の人権に関する問題

第13回 社会保障・生活支援に関する問題

第14回 性的マイノリティ・LGBTに関する問題

★振り返りとまとめのために、90分のオンデマンドビデオを中村が作成し、第14回の翌日から1週間の間は視聴することができるようにする。

授業内容・順番については、変更する場合がある。その場合には、moodleを通じて連絡する。

事前・事後学修／Preparation and assignments

第1回 ガイダンス

〔事前学習〕この授業で扱われる分野について、過去数ヶ月のニュース・新聞記事などをあらかじめ探して、どのような問題が生じているのかを把握する。（120分）

〔事後学習〕授業内容のまとめをおこない、振り返る。(60分)

第2回・第3回 労働に関する問題

〔事前学習〕ゲストスピーカーから事前にレジュメの配布がある場合には、これと該当テーマに関連する新聞記事等を熟読し、該当テーマについての自己の考えをまとめ、講師等とのディスカッションに向けて準備しておく。また、ゲストスピーカーから、テーマに沿った事例問題等が出される場合には、課題を検討し、指定通りに提出すること。(90分)

〔事後学習〕授業後は授業内容を振り返り、自己の考察を深めること。また、ゲストスピーカーから、テーマに沿った事例問題等が出される場合には、課題を検討し、指定通りに提出すること。(90分)

第4回・第5回 消費者被害に関する問題

〔事前学習〕ゲストスピーカーから事前にレジュメの配布がある場合には、これと該当テーマに関連する新聞記事等を熟読し、該当テーマについての自己の考えをまとめ、講師等とのディスカッションに向けて準備しておく。また、ゲストスピーカーから、テーマに沿った事例問題等が出される場合には、課題を検討し、指定通りに提出すること。(90分)

〔事後学習〕授業後は授業内容を振り返り、自己の考察を深めること。また、ゲストスピーカーから、テーマに沿った事例問題等が出される場合には、課題を検討し、指定通りに提出すること。(90分)

第6回 司法制度の歴史 ※弁護士に対して社会から求められている役割等の理解の前提

〔事前学習〕ゲストスピーカーから事前にレジュメの配布がある場合には、これと該当テーマに関連する新聞記事等を熟読し、該当テーマについての自己の考えをまとめ、講師等とのディスカッションに向けて準備しておく。また、ゲストスピーカーから、テーマに沿った事例問題等が出される場合には、課題を検討し、指定通りに提出すること。(90分)

〔事後学習〕授業後は授業内容を振り返り、自己の考察を深めること。また、ゲストスピーカーから、テーマに沿った事例問題等が出される場合には、課題を検討し、指定通りに提出すること。(90分)

第7回 公害・環境に関する問題

〔事前学習〕ゲストスピーカーから事前にレジュメの配布がある場合には、これと該当テーマに関連する新聞記事等を熟読し、該当テーマについての自己の考えをまとめ、講師等とのディスカッションに向けて準備しておく。また、ゲストスピーカーから、テーマに沿った事例問題等が出される場合には、課題を検討し、指定通りに提出すること。(90分)

〔事後学習〕授業後は授業内容を振り返り、自己の考察を深めること。また、ゲストスピーカーから、テーマに沿った事例問題等が出される場合には、課題を検討し、指定通りに提出すること。(90分)

第8回 中間まとめ

〔事前学習〕これまで扱ったテーマをもう一度見直し、自分の考えをまとめ、ディスカッションに向けて準備しておく。授業で配布された資料を見直すとともに、各回終了時に提出したペーパーにどのようなことを書いていたのかを振り返る。(120分)

〔事後学習〕授業後は授業内容を振り返り、自己の考察を深めること。(60分)

第9回・第10回 子どもの権利に関する問題

〔事前学習〕ゲストスピーカーから事前にレジュメの配布がある場合には、これと該当テーマに関連する新聞記事等を熟読し、該当テーマについての自己の考えをまとめ、講師等とのディスカッションに向けて準備しておく。また、ゲストスピーカーから、テーマに沿った事例問題等が出される場合には、課題を検討し、指定通りに提出すること。(90分)

〔事後学習〕授業後は授業内容を振り返り、自己の考察を深めること。また、ゲストスピーカーから、テーマに沿った事例問題等が出される場合には、課題を検討し、指定通りに提出すること。(90分)

第11回 人種・民族・国籍等による差別の問題(ヘイトスピーチ)

〔事前学習〕ゲストスピーカーから事前にレジュメの配布がある場合には、これと該当テーマに関連する新聞記事等を熟読し、該当テーマについての自己の考えをまとめ、講師等とのディスカッションに向けて準備しておく。また、ゲストスピーカーから、テーマに沿った事例問題等が出される場合には、課題を検討し、指定通りに提出すること。(90分)

〔事後学習〕授業後は授業内容を振り返り、自己の考察を深めること。また、ゲストスピーカーから、テーマに沿った事例問題等が出される場合には、課題を検討し、指定通りに提出すること。(90分)

第12回 高齢者・障害者の人権に関する問題

〔事前学習〕ゲストスピーカーから事前にレジュメの配布がある場合には、これと該当テーマに関連する新聞記事等を熟読し、該当テーマについての自己の考えをまとめ、講師等とのディスカッションに向けて準備しておく。また、ゲストスピーカーから、テーマに沿った事例問題等が出される場合には、課題を検討し、指定通りに提出すること。(90分)

〔事後学習〕授業後は授業内容を振り返り、自己の考察を深めること。また、ゲストスピーカーから、テーマに沿った事例問題等が出される場合には、課題を検討し、指定通りに提出すること。(90分)

第13回 社会保障・生活支援に関する問題

〔事前学習〕ゲストスピーカーから事前にレジュメの配布がある場合には、これと該当テーマに関連する新聞記事等を熟読し、該当テーマについての自己の考えをまとめ、講師等とのディスカッションに向けて準備しておく。また、ゲストスピーカーから、テーマに沿った事例問題等が出される場合には、課題を検討し、指定通りに提出すること。

と。(90分)

〔事後学習〕授業後は授業内容を振り返り、自己の考察を深めること。また、ゲストスピーカーから、テーマに沿った事例問題等が出される場合には、課題を検討し、指定通りに提出すること。(90分)

第14回 性的マイノリティー・LGBTに関する問題

〔事前学習〕ゲストスピーカーから事前にレジュメの配布がある場合には、これと該当テーマに関連する新聞記事等を熟読し、該当テーマについての自己の考えをまとめ、講師等とのディスカッションに向けて準備しておく。また、ゲストスピーカーから、テーマに沿った事例問題等が出される場合には、課題を検討し、指定通りに提出すること。(90分)

〔事後学習〕授業後は授業内容を振り返り、自己の考察を深めること。また、ゲストスピーカーから、テーマに沿った事例問題等が出される場合には、課題を検討し、指定通りに提出すること。(90分)

★オンデマンドの回 振り返りとまとめ

〔事前学習〕これまで扱ったテーマをもう一度見直し、一番興味を持った、新たな視点を与えられたテーマを選び、その理由をまとめる。他のテーマについても、自分の考えをまとめ、授業で配布された資料を見直すとともに、各回終了時に提出したペーパーにどのようなことを書いていたのかを振り返り、Word文書にまとめたものを指定通りに提出する。(120分)

〔事後学習〕オンデマンドビデオの視聴後は授業内容を振り返り、自己の考察を深めて、意見や感想をmoodleのフォーラムに書き込む。(60分)

時間外の学習の合計2700分

授業の到達目標／Expected outcome

弁護士・弁護士会の公益活動を通じ、現実の社会生活においてどのような問題(課題)が生起しているかを知り、社会問題解決にはどうすればいいのかを考えられるようになること。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- ・倫理性
- ・創造性

専門知識・専門技能

【法学部 法律学科】

- ・法律学・政治学の基礎知識
- ・法律学・政治学の知識の応用力

【法学部 法政策学科】

- ・法律学・政治学・政策学の基礎知識
- ・法律学・政治学・政策学の知識の応用力

履修上の注意／Special notes, cautions

ディスカッションや質疑応答に対応できるよう十分な準備が必要であり、積極的参加が必須である。

六法を持参すること。

理由のない欠席が5回を超える場合には、「/ (出席日数不足)」の評価となる。正当な理由のない30分以上の遅刻は、欠席とみなす。

評価方法／Evaluation

指定提出物(レポート等)・各回終了時の提出ペーパー 70%

応答等の参加状況 30%

修得した専門知識の社会的役割を理解し、責任感と倫理性を持つことができているかを、各回の授業課題、質問への応答を通じて評価する。

修得した専門知識を活かし、社会的課題を理解し、解決ができることを、各回の授業課題を通じて評価する。

法体系・司法制度についての基本的な理解を修得し、社会の出来事を多角的にとらえる視野をもって社会問題を分析し、多様な人々の権利と自由を尊重する意識を持つことができているかについて、各回の授業課題を通じて評価する。

教材／Text and materials

特に教材は指定しない。

レジュメ・資料は各テーマ前に配布ないし指示する。

質問や相談の方法／Instructor contact

中村のオフィスアワーで質問などを受け付ける。水曜日11:00~12:00履修相談室(予定。変更があれば授業で知らせる。)

連絡先 moodleに記載するメールアドレス